

科 目 名

基礎デッサンⅡ

Basic drawing Ⅱ

1年 後期 2単位 選択
(美術学科)

熊 谷 有 展

概 要

一人一人が創ってみたい、表現してみたいものは様々であり、将来自分の作品を、自分の思い通りに創り上げる力を養う為にするのがデッサンである。

ここでいう基礎デッサンとは、実際のモチーフ（人体や静物など）をよく視て描き、明暗法、ヴァルール、マッサや立体感などの基礎的な技術を学び高めるのはもちろんのこと、頭の中にイメージしたものを明確に形にし、表現していける力を養うものである。

物の見方や考え方の柔軟な若い時期にデッサンを重ねることにより、幅広い基礎力や、作家としての視る力、表現する力を体得してほしい。

目 標

観察から表現へ 作家としての視る力、表現する力を養う

授業計画

テ ー マ	内 容
① 静物デッサン	対象をよく観察し、不要な部分を整理して、表現する力を養う。 形、明暗、材質、空間の表現
② 人体デッサン（コスチューム）	「生きている」人間に対する興味 プロポーション、ムーブマン、骨格と筋肉 関節の理解と表現
③ 人体デッサン（ヌード）	〃
④ イメージドローイング	頭の中にイメージしたものをドローイングする。

※美術学科とデザイン学科とでは、制作するスパンと内容が若干違ってきます。

評価方法

提出作品、制作過程と出席状況から評価する。

教 材

デッサン用具一式（木炭、木炭紙、鉛筆、カルトンなど）